

香雪美術館所蔵の長谷川等伯筆「柳橋水車図」が、新たに重要文化財に指定されました。

柳橋水車図（長谷川等伯筆）6曲1双

【時代】桃山時代

画面いっぱいに橋を架け渡し、柳と水車を組み合わせた柳橋水車図は、名所として知られる宇治橋を描くもので、遅くとも17世紀初頭には画題・図様ともに一般化していました。本作は水波の銀截金など入念な装飾技法によりきらびやかな画面を構成しています。また、本作には長谷川等伯(1539～1610)の印章が捺されています。近世初期には長谷川派に同様の類例が知られ、本作はその最初期の優品です。本作は柳橋水車図の作例中、作者が判明する現存最古例であるばかりでなく、柳橋水車図の成立と展開や長谷川等伯の画業を考究する上で欠かせない作品として位置づけられています。

※概要は、文化庁の解説より抜粋し、文体を整えました。

